

「名寄市立総合病院改革プラン」の進捗状況について

平成23年11月

「名寄市立総合病院改革プラン」は、国のガイドラインに基づいて平成21年3月に策定し、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の3点を改革の視点としており、「経営の効率化」では、平成23年度までに経常収支の黒字化を図り、健全で安定した経営基盤の確立を目指しています。

平成22年度の病院事業決算では、①診療報酬のプラス改定、②地方交付税の伸びによる繰入金増額、③経営コンサルタント導入による材料費削減、④補償金免除繰上償還の実施に伴う借換債の発行による利子負担の軽減などにより、9年ぶりの黒字決算となりました。

計画に対する実績、比較等については下記のとおりです。

資料 1

改革プラン数値目標と決算数値との比較

1 財務に係る数値目標

(1) 経常収支比率 (%)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	100.7	101.0	0.3	外来収益の増による。 給与費・材料費等の減による。

・ 計算方法：経常収益÷経常費用×100

・ 用語説明：医業及び医業外を含めた収支の状況を表し、100%以上は単年度黒字、数値が大きいほど経営状況が良いこととなります。

(2) 医業収支比率 (%)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	96.5	95.5	△1.1	入院収益の減による。

・ 計算方法：医業収益÷医業費用×100

・ 用語説明：医業本来の収支の状況を表す。100%以上は黒字、数値が大きいほど経営状況が良いこととなります。

(3) 職員給与比率 (%)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	58.0	58.6	0.6	入院収益減による医業収益伸び率鈍化。

・ 計算方法：職員給与比率 職員給与費÷医業収益×100

・ 用語説明：医業収益に占める給与費の割合を表す指標。

(4) 病床利用率 (%)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	92.0	81.7	△10.3	DPC 導入による在院日数の短縮による。

・ 計算方法：年延べ入院患者数÷年間延べ病床数×100

・ 用語説明：ベッド数当りの入院患者数で、100%に近いほどベッドが効率的に利用されています。

(5) 一般科の入院診療単価 (円)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	44,539	46,452	1,913	DPC による効果、手術料などの増加

・ 計算方法：入院収益÷年間延べ入院患者数

・ 用語説明：入院患者 1 日当たりの診療単価を表します。

(6) 一般科の外来診療単価 (円)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	7,355	7,889	534	DPC による一部検査が外来移行と手術料、処置料などの増加。

・ 計算方法：一般科外来収益÷一般科年間延べ外来患者数

・ 用語説明：外来患者 1 日当たりの診療単価を表わします。

2 公立病院としての医療機能に係る数値目標

(1) 年間延べ入院患者数 (人)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	119,720	106,132	△13,588	在院日数短縮・病床利用率減

(2) 年間延べ外来患者数 (人)

	プラン目標	決算数値	差	差が生じている理由
H22	248,534	239,408	△9,126	限られた医師数の中で入院診療を優先し、再診患者を調整する方針に変更